

長野県ものづくり産業振興戦略プランの取組状況について

目標値の達成状況

本プランの総括的な目標値
2020年における
「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
→ 1,260万円

「製造業の従業員一人当たり付加価値額」
2015年 1,117万円 → 2018年 1,119万円
(工業統計調査速報値/2020年2月発表)

取組状況

I 産業イノベーションの創出活動促進のための重点施策（9施策）

1 産業イノベーション創出研究開発支援 ～研究開発プロジェクトの多数組成と事業化の成功確率の向上～

研究開発成果の事業化を目的に、県内企業や大学などの優れた技術について競争優位性の検証、用途展開可能性の探索、事業化戦略の策定を支援するとともに、県テクノ財団による一貫支援も実施。

- 【実績】・産業イノベーションにつながりうる有望な研究開発に対し助成等により支援（13件）
・県テクノ財団の支援による国プロジェクト（サポイン）の獲得（5件）

今後の取組

- ・県テクノ財団のコーディネート活動等を通じて、研究開発成果の早期製品化・事業化を支援
- ・「目利き集団」と県内企業、大学等との連携を促進し、技術開発支援を強化

2 AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援 ～ビッグデータを活用した新ビジネスの創出に貢献～

県工業技術総合センターに「IoTデバイス事業化・開発センター」を設置するとともに、拠点施設「AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター」を開設。IoTやビッグデータを活用した事業創出を専門とする人材により、IoT分野へ参入するためのデバイス開発などの一貫支援を展開。

- 【実績】・サービスや健康・医療分野等へIoTを活用する新規研究開発プロジェクトの立ち上げ（5件）
・農業や観光分野へIoTを活用する継続プロジェクトの伴走支援（3件）



▲マウスピース内蔵センサーモジュールの開発

今後の取組

- ・AI・IoTを活用したプロジェクトの事業化に向けた伴走支援の実施
- ・新規プロジェクトの創出に向けたセンター活動周知の強化

3 課題解決型企業群形成支援 ～先端技術の導入と基盤技術の強化による提案力の向上～

県内下請型・受託加工型企業がこれまで蓄積した研究開発経験を活かし、川下産業の課題を解決できる企業へ着実に成長できるよう、川下産業への技術提案機会の提供や技術開発計画の策定支援などを実施。

- 【実績】・県内下請型企業の課題解決力を強化する研究会の開催（11研究会）
・研究会における共同研究の実施（9件）
・展示商談会等による川下企業への技術提案の場の提供を通じた一貫支援（42社、提案70件）

今後の取組

- ・支援先企業の強みとなる優位な技術の把握と川下企業への技術提案支援
- ・支援先企業の自社技術を核とした課題解決のための技術開発への支援

4 地域資源活用支援 ～地域資源を活用した高付加価値製品の創造～

県工業技術総合センターの地域資源製品開発支援センターやしあわせ信州食品開発センターなどによる、高品質な原材料の開発、製造技術向上、感性価値を高めるデザインの提案などの支援を実施。

- 【実績】・734件の相談に対し80件の支援を実施。
(うち22件の商品化に成功)



▲デザイン支援等を行った機械式腕時計

今後の取組

- ・特色のある地域資源を活用した製品開発を企画から販路開拓まで一貫して支援
- ・「良いモノ」から「売れる良いモノ」づくりを進め、地域経済を活性化

5 マーケティング力強化支援 ～有望分野・市場の把握及び販路開拓支援～

中小企業が取り組む有望市場への販路開拓を支援するため、国内外展示会への出展機会の提供や技術提案型商談会等を開催。

- 【実績】・工業製品に係る国内外展示会・商談会等への出展支援(19回、成約件数52件)
・加工食品に係る国内外見本市・展示会等への出展支援(9回、成約件数99件)
・加工食品に係る独自商談会の開催(4回、成約件数53件)

今後の取組

- ・新型コロナウイルスの影響を考慮し、工業製品・加工食品の販路開拓支援におけるWEB商談会など新たな開催形式を検討

6 産業人材育成支援 ～長野県産業の「稼ぐ力」を創出する人材の育成・確保を進めるため、

切れ目のない支援を目指す～

産業人材育成協議会を設置し、県内産業界の人材育成に必要な施策の方向性検討や、産業人材育成を進める上で直面している様々な課題への対応を検討。また、基礎技術の向上に寄与する人材育成を実施。

- 【実績】・信州・未来のひとづくり塾の開催(95講座開講)
・県内ものづくり産業の技術力の維持・向上等を図るための在職者向けの講座(スキルアップ講座)開催(215講座開講)



▲信州・未来のひとづくり塾

今後の取組

- ・信州・未来のひとづくり塾の開講
- ・令和2年度スキルアップ講座の開講

7 産業人材確保支援 ～理工系学生や専門人材を対象とした取組～

新規学卒者の県内就職促進や働き方改革の推進による人材の定着を目的とした事業を展開。

- 【実績】・県外での「合同企業説明会」の開催、県内での「インターンシップフェア」の開催
・働き方改革先進企業の事例研究会を開催(4回)

今後の取組

- ・新型コロナウイルスの影響を考慮した就職活動生を対象としたオンライン企業セミナーの実施
- ・新「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証企業の公表と認証の開始 など

8 起業・スタートアップ支援 ～日本一創業しやすい県づくりの推進～

イノベティブな創業を促進するため、「信州創業応援プラットフォーム」による情報の一元化やマッチング支援、新たなビジネス創造支援を実施。

【実績】・「信州創業応援プラットフォーム」による情報の一元化とマッチング支援を実施

- ・創業セミナーの実施（13回、延べ251名参加）
- ・スタートアップ期の事業者を対象に、直面する課題を解決し成長を加速するための支援（アクセラレーション事業）を実施（5者を支援）

今後の取組

- ・市町村が設置するテレワークやコワーキング施設と連携した創業支援体制構築のため、ICT拠点施設「サザンガク」内に創業支援拠点を開設
- ・ITを活用したビジネス創出を支援するため、専門コーディネータを創業支援拠点へ配置 など

9 産業集積及び投資促進 ～長野県の強みを活かした企業誘致・雇用創出～

企業誘致や県内企業の成長期待分野等への参入に向けた投資促進への取組、助成制度や税制優遇、融資、販路開拓などの総合的な支援を実施。

【実績】・本社機能の移転・拡充に伴う事業認定（1件）

- ・企業立地（30件）
- ・市町村・大学・金融機関等と連携した誘致活動の実施（研修会56名参加）

今後の取組

- ・成長期待分野等に狙いを定めた戦略的な企業誘致活動の実施
- ・国・県等の優遇制度を活用した本社機能の移転等促進

II 産業イノベーション創出型プロジェクト（16プロジェクト）

健康・医療分野

1 プレメディカルケア産業の集積形成

佐久地域において、プレメディカルケア（病気の予防、早期発見、健康増進）に関する産業の創出と集積形成を目指し、アイデア創出やネットワーク形成を行うワークショップを開催。

【実績】・医療現場のニーズ紹介などのワークショップを開催（6回）

- ・プレメディカル機器の試作開発や専門家による評価・助言を実施



▲ワークショップによる医療現場等のニーズ紹介

今後の取組

- ・ワークショップの継続的な実施
- ・個別プロジェクトの立ち上げ（具体的な製品開発や事業化の支援）

2 材料・精密技術等の融合による健康・医療機器関連産業の集積形成

県内企業の精密加工技術や信州大学の材料技術を活かした健康・医療機器関連産業の集積形成を推進。

【実績】・新たな医療機器開発・事業化を支援する「信州医療機器事業化開発センター」を設置

- ・医療機器及び関連部材のグローバル展開を支援する「信州メディカルデバイスグローバル展開センター」を設置
- ・薬事・保険収載に係る相談支援（16件）、海外展示会出展（2展示会、10社）

今後の取組

- ・中小企業や大学発ベンチャーによる医療機器事業化プロジェクトへの継続的な支援
- ・医療機器開発人材の育成

3 東信州広域連携による次世代自立支援機器・産業機器製造業の集積形成

東信州次世代産業振興協議会等が取り組む産学連携・研究開発、人材確保・育成、ネットワーク強化に対して支援を実施。

- 【実績】・次世代産業創出に向けた開発プロジェクトの立ち上げ・事業化検証・市場調査を実施（4件）
- ・企業と大学、職業高校、シニア人材との情報交換会開催による人材確保を支援（3回開催）



▲“人に優しい”着る”ロボットの事業化支援

今後の取組

- ・新規プロジェクトの立ち上げ及び事業化に向けた事業運営の支援（補助制度の申請支援を含む）

4 超精密加工技術による医療・ヘルスケア機器分野への参入企業の集積形成

医療ヘルスケア機器産業を諏訪地域へ集積するための、医療セミナー開催や企業訪問によるニーズマッチングを実施。

- 【実績】・関東地区の製販企業とのニーズマッチングを実施（5回）
- ・地域ならではの医療ブランドを構築するための勉強会を実施
 - ・病院における課題をテーマとした個別の研究會を実施（12テーマ）

今後の取組

- ・医療機関におけるニーズの把握と医療・学術関係者との意見交換の実施
- ・医療機器製品開発における薬事、特許対応等の具体的実地指導を通じた人材育成の実施

5 オープンイノベーションによる日常生活動作支援産業の集積形成

高齢や障がいによる日常生活の不自由や看護をサポートする製品・サービスを開発・実証して、社会実装・ビジネス化に結び付ける産業の集積形成を実現するための情報交換や研究開発を実施。

- 【実績】・INA Valley 産業支援ネットワークによる情報交換会（2回）や勉強会を開催（2回）
- ・スマート看護・福祉研究会による看護（介護）用椅子の開発を推進

今後の取組

- ・INA Valley 産業支援ネットワークなどによる継続的な活動の実施
- ・日常生活動作を支援する製品・サービスの掘り起こしと積極的なPRの実施

6 健康増進と経済活性化に寄与する食品関連製造業の集積形成

南信州の特徴的な食品を活用した健康増進や高齢者介護、地域経済活性化に向けた取組として、食品分析評価や商品開発支援、地域内消費拡大や中京地区への情報発信を実施。

- 【実績】・飯田メディカルバイオクラスター食品系分科会による勉強会を開催（3回、延べ51名参加）
- ・腸内環境を整え健康増進に有効なルミナコイドに関する研究会の発足と学習会の開催（3回、延べ76名参加）



▲冷凍介護食の開発・製品化

今後の取組

- ・健康増進に寄与する新商品開発に対する支援の実施
- ・企画デザイン等の個別支援の実施
- ・エス・バードでの研究機関による食品の分析評価支援の実施 など

7 すんき等の発酵食品による地域のブランディングを通じた産業の集積形成

すんき等の発酵食品を核とする食品製造業を中心に、農業や観光等の他の産業と連携して、木曽地域に地域産業を集積するための商品化支援や情報発信を実施。

【実績】・木曽路物産展やラジオを通じてすんき等の発酵食品のPRを実施（4回）

・すんきの生産・販売・加工・PR・販路開拓に関する情報交換を行うプロジェクト会議を開催（4回）

今後の取組

- ・すんき等の製品の安定供給及び品質向上に向け、原料生産及び加工・販売事業者の連携体制を強化
- ・メディアや食品関連の展示会・物産展において、木曽地域の発酵食品の優位性についてPRを実施

8 住民参加型の健康・医療関連産業の集積形成

健康・医療関連分野に係るニーズ把握から研究開発・生産までの一貫体制の構築を目指し、信州大学の信州リビング・ラボ構想事業との協働で、在宅医療や介護の現場で求められる医療機器等のアイデアを創出する機会を設置。

【実績】・住民から在宅医療・介護の困りごとや問題を収集し、アイデアを創出するためのワークショップ等を開催

・医療機器を開発、創出できる人材の育成等を目的としたセミナーや講習会を開催（11回、延べ318名参加）



▲住民参加型のワークショップ

今後の取組

- ・健康・医療関連産業の集積を加速させるため、更なる住民や企業の参画を促進

9 ヘルスツーリズムの活性化に資する農商工連携型産業の集積形成

北アルプス地域で取り組まれているヘルスツーリズムの普及促進につながる健康関連製品の開発・改良プロジェクトを推進することを目的とした協議会を設置・運営。

【実績】・産学官金により構成される協議会により、情報収集とニーズ探索を実施（延べ25者）

・ハーバルヘルスツーリズム関連製品開発等推進プロジェクトによる研究開発への支援

今後の取組

- ・カミツレを活用した新たな健康関連製品の開発
- ・カミツレ未利用材の用途探索・新規開発案件の模索 など

10 からだに優しい食品製造業の集積形成

長野県食品製造業振興ビジョンに基づき、長寿県 NAGANO の「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の集積形成の実現に向けた取組を推進。

【実績】・機能性食品に関するセミナー・個別相談会を実施

・県内食品の機能性エビデンスの取得に向け、免疫調節作用等についての研究を実施

今後の取組

- ・しあわせ信州食品開発センターを中心とした商品開発支援の実施

11 地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成

醸造蔵に存在している多くの地域遺伝資源（発酵微生物等）や豊富な果物等の地域資源を活用した発酵食品・機能性食品産業の集積形成を目指し、地域の醸造蔵に住んでいる数ある「菌」の科学的解明を開始。

【実績】・新たに県内8つの醸造蔵のサンプルから菌を採取

・科学的解明により、機能性を有する菌（有用菌）が発見される見込み

今後の取組

- ・有用菌の科学的解明と有用菌を活用した企業グループによる味噌等食品の施策検証
- ・有用菌の知的財産保護、共同使用、商品化戦略構築等のための専門家による指導・助言 など

12 信州カラマツ活用型産業の集積形成

信州カラマツの活用方法を研究し、住宅関連等へ製品展開する企業の創出を図ることを目的に、信州カラマツ等の木材寸法安定処理技術に関する基礎的な研究データの収集や事業化に向けた情報収集等を実施。

【実績】・木材寸法安定処理技術に係る技術開発の実施

- ・科学的なエビデンスの蓄積

今後の取組

- ・信州カラマツを活用した製品の実用化に向けた研究開発の推進
- ・国の提案公募型事業への提案

13 「水浄化関連技術」の事業化を通じた関連産業の集積形成

水浄化関連技術の研究開発や事業化を支援することにより、プロジェクト参画企業の発展・成長や、県内への研究所等の移転、県内企業による用途開発等を促進し、関連産業の集積形成を推進。

【実績】・アクア・イノベーション拠点（COI）で蓄積した材料科学や開発手法を、多分野に展開するための会員制のプラットフォーム「アクア・ネクサスカーボンプラットフォーム（AxC-PF）」を設立

今後の取組

- ・研究開発の継続的な実施
- ・研究シーズと企業のニーズや技術とのマッチング支援の実施

14 ゼロエミッション生産技術による環境調和型産業の集積形成

ゼロエミッション生産技術により、環境先進県長野を具現化する環境調和型産業の集積形成を目指すため、工業技術総合センターによる企業支援の実施や研究会を開催。

- 【実績】・AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを開所し、技術普及や利用促進を図るため、特別講演会や見学受入を実施（延べ940名）
- ・生産現場におけるエネルギーコスト削減への改善提案の実施（6社）
 - ・研究会会員へ生産状況の見える化や工程改善の支援を実施（5社）



▲AI活用/IoTデバイス事業化・開発センター

今後の取組

- ・IoT事業化プロデューサー等によるIoTデバイス開発プロジェクトの推進
- ・IoT導入支援のためのセンターIoTキット（工技センター独自開発）を生産現場へ貸与
- ・省エネ技術導入啓発のための省エネ実習の実施 など

15 高度科学的手法による未利用バイオマス新規活用産業の集積形成

キノコ廃培地から高度科学的手法を用いて、高付加価値製品である希少糖を創出するビジネスモデルの構築により、未利用バイオマスの新規活用産業の集積形成を目指し、研究開発を推進。

- 【実績】・国の提案公募型事業により、キノコ廃培地から希少糖を抽出する研究開発を実施
- ・希少糖抽出後の残渣活用について、専門家を招へいし技術的課題を検討

今後の取組

- ・希少糖創出に向けた技術開発を国の提案公募型事業で継続実施
- ・希少糖抽出後の残渣活用の調査検討 など

16 航空機システム産業の集積形成

航空機システム関連の企業や研究開発支援機能が集積する「アジアの航空機システム拠点」の形成を実現するため、航空機システムに関する開発支援機能の強化や参入促進支援を実施。

【実績】・航空機システム共同研究講座による高度人材育成（修了生6名）

・工業技術総合センター航空機産業支援サテライトに元航空機メーカー出身種の航空機システム研究マネージャーを配置

▲シンガポールエアショーへの出展支援

・県外大学の学生等へ長野県の航空機産業等を紹介するセミナーの開催（3か所、100名参加）

・県テクノ財団による国内外の航空機関連展示会への出展支援（国内1回、海外1回）

・参入機運を醸成するための航空機システム研究会の開催（6回、60社）



今後の取組

- ・航空機産業を取り巻く状況変化に対応するため長野県航空機産業振興ビジョンを改訂
- ・航空機システム関連企業等が一堂に会する国内初のシンポジウムを開催
- ・リサーチャーによる北米の航空機産業の動向調査実施 など